

一般入試前期B日程

日本史

●全体の講評

日本史の問題は、時代を見ると、原始・古代から大問1問、中世・近世から大問1問、近現代から大問1問を出題します。大問のなかをA、Bと二つに分けて、異なる二つの時代の問題を出題することもあります。Ⅳでは現代に関する問題も1問を出題します。分野を見ると、政治史、外交史、経済史、社会史、文化史のいずれかを出題します。年代の順を問うもの、資料を用いるものも出題します。

今年の問題では、時代の観点からすると、古墳時代、平安時代、室町時代、江戸時代、明治時代、大正時代、昭和時代から出題しました。特定の時代に偏るのではなく、すべての時代を学ぶように心がけてください。日本史が選択科目になっている知的財産学部でも情報科学部データサイエンス学科（文系型）でも、入学後の学習内容は基本的に近現代に関わるので、近現代を丁寧に学んでください。

問題の種類という観点からすると、資料問題も出題していますが、資料集をすべて暗記することを期待しているわけではありません。資料集を用いて学んで、その時代のリアルな動きを把握するという学習習慣が身につくことを期待しています。

時代も分野も問題の種類も幅広いですが、大学での学びに重要な内容ですので、日本史の大きな流れを複眼的に学習してください。

●各設問の講評

I

■出題のねらい

古代の外交史・文化史を中心に出题しました。Aでは、4世紀の朝鮮半島の情勢についてのリード文を示し、百済や新羅・高句麗などを問いました。好太王碑の碑文についての史料問題も出題しました。Bでは、遣唐使派遣停止後の東アジアと朝廷との関わりについてのリード文を示し、外交史や文化史を問いました。

■採点講評

Iの正答率は約48%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
I	1	①	①高句麗の好太王碑の碑文に、4世紀末の戦いについて記されている。 ②『宋書』倭国伝の倭の五王の遣使に関する記述。 ③『後漢書』東夷伝の2世紀後半の倭国大乱に関する記述。 ④『日本書紀』の遣隋使の派遣に関する記述。

大問	解答 番号	正答	解 説
	2	④	イ帯方郡は313年に高句麗の南下によって支配下に入った。 オ馬韓は朝鮮半島南西部にあった小国連合で、のちにこの地に百済が成立した。
	3	②	①獲加多支鹵大王の銘文は見られない。獲加多支鹵大王の銘文がみられるのは稲荷山古墳出土鉄剣などである。 ③物部守屋ではなく大伴金村。物部守屋は蘇我馬子・厩戸王（聖徳太子）に滅ぼされた。 ④5世紀に『論語』を伝えたのは王仁。五経博士が渡来したのは6世紀。
	4	④	X誤り。伴造ではなく国造。Y誤り。唐・新羅の連合軍は倭国に攻め込んできていない。
	5	②	①『唐大和上東征伝』は淡海三船の著書。円仁は自らの入唐時のことを『入唐求法巡礼行記』に著した。 ③円仁は天台宗の僧で、その門流は比叡山延暦寺を拠点とする山門派となった。 ④修験道の開祖は役小角。
	6	②	キ朱雀天皇は醍醐天皇の皇子で、藤原忠平の補佐を受けて政治を行った。 コ宋（北宋）は金に滅ぼされて南宋となったが、その後、元に滅ぼされた。
	7	③	①藤原忠平ではなく藤原時平。 ②『倭名類聚抄』は菅原道真ではなく源順の著書。菅原道真は歴史書『類聚国史』を編纂した。 ④専修念仏ではなく御霊会。専修念仏は極楽往生するために、ただひたすら念仏をとこなえること。
	8	①	X Y正しい。
	9	④	サ渤海は926年に契丹（遼）に滅ぼされた。 シ藤原伊周は藤原道長と氏長者を争った人物。

II

■出題のねらい

中世と近世の社会史・経済史を中心に出题しました。Aでは、室町時代の農村についてのリード文を示し、惣や惣掟、一揆などを問いました。Bでは江戸時代の産業の発展についてのリード文を示し、本百姓体制や江戸時代に発達した諸産業などを問いました。

■採点講評

Ⅱの正答率は約48%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
Ⅱ	10	①	②地頭請ではなく地下請（百姓請・村請）。地頭請は鎌倉時代に行われた。 ③使節遵行ではなく地下検断（自検断）。使節遵行は室町時代に守護に認められた権限。 ④講ではなく宮座。講は室町時代の社交などのための民衆の小集団。
	11	②	X正しい。Y誤り。村八分が科されたのは江戸時代。
	12	⑤	惣の指導者は沙汰人、おとな（長・乙名）などとよばれた。
	13	④	室町時代の酒屋は高利貸業を営んでいた。
	14	①	一揆の際には、神仏に誓約した起請文を燃やした際の灰を入れた水を飲んで一致団結を誓い合う一味神水が行われた。
	15	③	①足利義尚ではなく足利義教。義尚は9代将軍。 ②播磨の土一揆（1429年）では赤松満祐の家臣追放が要求されたが実現しなかった。 ④蓮如は加賀の一向一揆（1488～1580年）を率いていない。
	16	①	X Y正しい。
	17	③	①『農業全書』の著者は宮崎安貞。大蔵永常の農書は『広益国産考』など。 ②唐箕は選別具。脱穀具は千歯扱など。 ④報徳仕法を説いたのは二宮尊徳。安藤昌益は万人直耕の自然世を説いた八戸の医者。
	18	②	越前紙（奉書紙・鳥ノ子紙）は高級和紙として知られた。
	19	③	染料などに使われた紅花の産地は出羽村山（最上）地方。
	20	⑤	清酒の産地は灘。
21	②	①備前焼は鎌倉時代に始まった。 ③俵物は干し鮑、いりこ、ふかひれなど。鰯はメ粕などに加工された。 ④入浜塩田と揚浜塩田が逆である。	

Ⅲ

■出題のねらい

「新聞」をテーマとして、近現代の政治史・社会史を中心に総合的に出題しました。Aでは、おもに明治時代に焦点を当てたリード文を示し、新聞の担った役割や関連する法制度などを幅広く問いました。Bでは、大正期以降戦後にいたるまでのリード文を示し、大正デモクラシーにお

ける新聞の関わり方や戦時体制期の政府による言論・出版統制などを問いました。

■採点講評

Ⅲの正答率は約43%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅲ	22	②	ア 蛮書和解御用は1811年に天文方高橋景保の建議を受けて設立された。その後、1856年に蕃書調所となった。 イ 島地黙雷は廃仏毀釈で大打撃を受けた仏教の復興につとめた浄土真宗の僧侶。
	23	③	ウ 『東京日日新聞』は1872年創刊の日刊新聞。 オ 出版条例は1869年に出された法令で、1875年に改正されて自由民権運動の弾圧に利用された。
	24	④	X 誤り。『日新真事誌』はイギリス人ブラックが創刊した新聞。福沢諭吉が創刊したのは『時事新報』。Y 誤り。元老院ではなく左院に提出した。元老院が設置されたのは民撰議院設立の建白書提出（1874年）の翌年である。
	25	③	① 工部省の内容。内務省は地方行政・警察などを任とする政府の機関である。 ② 初代内務卿は大久保利通。伊藤博文は初代工部卿。 ④ 内務省は1947年に廃止された。
	26	①	② 幸徳秋水ではなく徳富蘇峰。 ③ 『万朝報』は当初、非戦論の立場をとったが、のちに開戦論を主張した。 ④ 徳富蘇峰ではなく幸徳秋水・堺利彦ら。
	27	②	ク 米騒動を契機に寺内正毅内閣が総辞職すると原敬内閣が成立した。 シ 政令201号は1948年に芦田均内閣が出した公務員の争議行為を禁じた政令。
	28	④	X 誤り。『大阪毎日新聞』『大阪朝日新聞』は1924年に発行部数100万部を突破した。Y 誤り。『大阪朝日新聞』ではなく総合雑誌の『中央公論』。
	29	④	①② 甘粕事件と亀戸事件が逆。 ③ 虎の門事件で第2次山本権兵衛内閣が総辞職すると、清浦奎吾内閣が成立した。
	30	①	② 広田弘毅内閣ではなく岡田啓介内閣。 ③ 『麦と兵隊』ではなく『生きてゐる兵隊』。『麦と兵隊』は火野葦平の著書。 ④ 『細雪』は谷崎潤一郎の作品。

IV

■出題のねらい

渡来人を祖とする氏族についての知識や持統天皇の事績などから、戦後のサンフランシスコ平和条約にいたるまで、すべての時代と分野を出題範囲として、基本事項を幅広く出題しました。

■採点講評

IVの正答率は約48%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
IV	31	③	①西文氏の祖は『論語』『千字文』を伝えた王仁。 ②蘇我氏はヤマト政権の有力豪族。 ④東漢氏の祖は文筆に優れて史部を管理していた阿知使主。
	32	①	X Y正しい。
	33	②	①東北や九州などの地域では兵士や軍団は廃止されていない。 ③文室綿麻呂ではなく坂上田村麻呂。文室綿麻呂は嵯峨天皇に征夷将軍に任じられた。 ④検田使ではなく勘解由使。検田使は国司が土地調査のために派遣した役人。
	34	③	①公文所の設置（1184年）は、壇の浦の戦い（1185年）よりも早い。 ②寿永二年十月宣旨は1183年に出されたもので、頼朝の奥州平定（1189年）よりも早い。 ④源実朝が源頼家の遺児公暁によって暗殺された。
	35	④	①～③はいずれも自治都市だが、①大湊は老分衆、②京都は町衆、③堺は合衆を中心に運営された。
	36	②	①運上、④冥加は営業税。③町入用とは町人が負担した町の経費。
	37	③	①ラクスマンとレザノフが逆。 ②高橋景保ではなく松平康英。高橋景保はシーボルト事件で処罰された天文方。 ④高野長英の著書は『戊戌夢物語』。『慎機論』は渡辺華山の著書。
	38	②	①山東半島ではなく遼東半島。 ③奉天会戦（1905年）は日露両軍の主力戦。仁川港・旅順港奇襲攻撃によって日露戦争が始まった。 ④ロシアは降伏していない。アメリカのセオドア＝ローズヴェルト大統領の斡旋で両国の講和が実現した。

大問	解答 番号	正答	解 説
	39	①	<p>②西安事件（1936年）は第2次国共合作が成立する契機となった張学良による蔣介石監禁事件。</p> <p>③上海事変は、上海で起こった日中の軍事衝突で、満州事変中の第1次上海事変と、日中戦争中の第2次上海事変がある。</p> <p>④柳条湖事件（1931年）は満州事変の端緒となった事件。</p>
	40	④	<p>X誤り。日ソ基本条約ではなく日ソ共同宣言。日ソ基本条約は1925年に結ばれた国交樹立のための条約。</p> <p>Y誤り。アメリカからの返還ではなく、アメリカの統治下におかれることが決まった。</p>